

Kos declaration コス宣言

医療と健康管理の様々な分野から参集した我々は、1992年ヒポクラテスの島、ギリシアのコス島のアスクレピエイオンにてフランス人権宣言との連携において、全ての個人への敬意の基本原則を信じ、我々自身に宣言する。

- 責任感を持って医療を発展させていきたいという我々の貢献や望みに対する動機を自覚し
- 政治的、経済的、科学的、技術的圧力によってもたらされる危険性を認識し
- 以下の倫理的方針について一切妥協しないという決意を宣言する。



科学の発展により、これまで以上に我々は常に隣人(患者)の言葉に耳を傾けることを忘れてはならない。我々は健康問題を解決しようと治療法を押し付けることを全力で阻止し、隣人(患者)に寄り添い、肩を並べて歩み、治療方針について討論する。

どのような人生を歩んできたものにも、例外なく、そのライフスタイル、文化、信仰に基づく信条を理解し、尊重し、全ての患者に対して、健康問題解決のための一つの選択肢として我々の医療サービスを提案する。

どのような痛みの表現も尊重し、一切否定しない。たとえそれが個人特有であったりその集団特有であったとしても、我々の第一責務は痛みの意味と原因を発見することにある。

全ての人が健康サービスを受ける権利を堅持し、その権利を守るために断固として戦う。

世界中のどこにおいても、人を排斥したり、殺害したり、拷問したり、妨害したりする行為に対しては、たとえカモフラージュであったとしても、協力することを断固として拒絶する。

我々はその行動を、過誤を含めて、世間に公表する。これに基づき告白した者に対して我々は決して危害を加えない。

人間の限界を常に意識し、どのような状況にあっても自分を見失わず、不確かなことをごまかさず、自己統制の進歩に連れて、我々の知識を伝え広げる。

我々が行う宣言に基づき、治療医学と同等に予防医学の発展にも寄与する。

同胞の健康が我々の目標であり、健康回復を目的とするわけではない。我々は健康を達成することよりも健康関連市場がより重要性を増すような行為には決してくみしない。

欧州健康オープンスクールにおける第6回国際会議においてこの宣言を作成した。1992年10月25日から30日にコス島で開催されたこの会議では「新たなヒポクラテスの誓詞：医療と社会的実践の場において」をテーマとした。170名が討論した。アルジェリア、ベルギー、イギリス、フランス、ドイツ、ギリシア、イタリア、オランダ、ルーマニア、スイス計10か国から参加した。この宣言は最初にフランス語で起草し、J. Carpentier & C. Mangin-Lazarusの編集によって1996年「Retrouver la Médecine. Paris : Synthélabo, Collection Les Empêcheurs de Penser en Rond」の229ページから231ページに収載された。

挿絵はGuy Barbier氏。